



平成 20 年 4 月 21 日

各 位

会社名 株式会社メガネトップ
 代表者名 代表取締役社長 富澤昌三
 (コード番号 7541 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 寺澤 章
 (TEL. 054 - 275 - 5000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成 19 年 11 月 16 日に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期の業績予想の修正について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期連結業績予想数値の修正

通期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	42,500	3,050	3,000	1,280
今回修正予想(B)	42,099	2,641	2,516	877
増減額(B-A)	401	409	484	403
増減率(%)	0.9	13.4	16.1	31.5

2. 平成 20 年 3 月期個別業績予想数値の修正

通期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	41,800	3,000	2,980	1,270
今回修正予想(B)	41,366	2,562	2,459	795
増減額(B-A)	434	438	521	475
増減率(%)	1.0	14.6	17.5	37.4

3. 修正の理由

連結売上高につきましては、第 4 四半期において、2 月における天候の不順、3 月における決算セールが計画を下回ったことから、売上高は 42,099 百万円となり、計画比未達となる見込みとなりました。

利益につきましては、売上高の未達、決算セールによる原価率の上昇により、売上総利益が未達の見込みとなりました。

一方で、販売費及び一般管理費につきましては、全社的なコスト削減努力により計画対比圧縮できましたが、売上総利益の未達分をカバーするには至らず、連結営業利益は計画を 409 百万円下回る見込みとなりました。

また、当社グループでは、メガネフレームや店舗什器などを輸入しており、為替変動の影響を軽減するため通貨クーポンスワップを行っておりますが、平成 20 年 3 月の急激な円高・ドル安の影響により、為替差損を 150 百万円計上する見通しとなりました。

これらのことから、連結営業利益 2,641 百万円、連結経常利益 2,516 百万円と、計画をそ

れぞれ下回る見込みとなりました。

さらに特別損失として店舗閉鎖などによる固定資産除却損等を計上したことから、連結当期純利益につきましては 877 百万円と計画を下回る見込みとなりました。

なお、第 4 四半期のみ（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の前年同期間との比較では、連結売上高で 23.6%増、連結営業利益で 109.8%増、連結経常利益で 81.3%増、連結当期純利益で 229.5%増と、増収増益の見込みとなりました。

個別業績につきましても上記連結業績と同様の理由により修正いたします。

4. 配当について

期末配当につきましては、平成 20 年 2 月 15 日付「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」にて発表しておりますとおり 1 株当たり 6 円を予定しております。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の実績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上